

# 子どもの成長と社会

21211300 保園 裕騎 ([21211300yh@tama.ac.jp](mailto:21211300yh@tama.ac.jp))

## 1. 概要

最近、子どもの自殺や引きこもりなどのニュースが目立つ。子どもの健やかな成長は人としても、国の将来のためにもなくてはならないものだ。しかし、今日の日本においてそれすらも脅かされている。教育は常に受動的、受身であり何かあってから初めて事の重要性に気づくありさまである。「最近の子どもは変わった」「今の若い子は何を考えているかわからない」という大人の意見を私はよく耳にする。確かに昔と今の子どもを比べたとき、今の子どもは昔の「子どもらしさ」とはかけ離れていると私も子どもながらに感じる。ただ、それをなげやりに子どもにぶつけるだけでは子どもが歪むのも当然である。なぜ変わったのか、何が変わったのか、どうあるべきなのかをもう一度考えなければならないのではないだろうか。

## 2. 問題

子どもが子どもらしく健やかに成長できていない日本の社会。

## 3. 今後の研究内容

子どもの理想とは。

子どもと変容と社会的背景の考察

問題の再確認と定義

課題及び解決案の模索

## 4. 先行研究

「子供の社会力」(岩波新書 648)の著者である門脇厚司氏